

研究課題名	lgA 腎症に対する口蓋扁桃摘出術+ステロイドパルス併用療法後の蛋白尿寛解予測と、治療効果に関連する臨床的特徴の機械学習による可視化
研究期間	2025 年 10 月 10 日 ～2028 年 3 月 31 日
研究の対象	2014 年 1 月～2023 年 12 月の間に広島大学病院腎臓内科で腎生検を受け lgA 腎症と診断された方のうち、治療として口蓋扁桃摘出術+ステロイドパルス併用療法(扁桃摘パルス療法)を受けられた方
研究の目的・方法	研究目的：AI を用いて扁桃摘パルス療法を受けられた方の治療効果の予測を試みます。 研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用して上記について検討します。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、病歴、血液検査結果、画像検査結果等 試料・情報の管理責任者：広島大学病院腎臓内科 教授 正木崇生
利用または提供を開始する予定日	2025 年 10 月 10 日（実施許可日以降）
個人情報の保護	得られた試料・情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。個人と連結させるための対応表は、個人情報管理者が厳重に管理します。
外部への試料・情報の提供	なし。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院腎臓内科 教授 正木崇生
その他	
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や

	研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 広島大学病院 腎臓内科 担当者：久保田志織、前岡侑二郎 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-1506
--	--